最強といわれる2人の攻略!
彼らを極めることが
頂点への近道

攻略ガイドブック③
ガイル/ダルシム編



攻略編　ガイル

力と技を兼ね備えた最強の戦士

STREET FIGHTER II

どんな場面にも対応できる豊富な足技、あらゆる間合いで活躍するパンチ。そして、数ある必殺技の中でもとくに強力な技を持つ戦士、それがガイルだ。





基本的な闘い方 鉄壁の守りを身につけよう

ガイルの強みはソニックブームという飛び道具系の技を持っていることだが、ソニックブームを撃った直後の一瞬のスキが、逆に弱みでもある。このときを狙って飛び込んでくる相手をうまく迎撃できないと、そのまま相手のペースに持ちこまれてしまう。それを防ぐためには、ソニックブームを撃った直後の対空防御を徹底させるしかない。完璧な対空防御で、鉄壁の守りを固めよう。



対空防御のこなしかたひとつで、ガイルの能力は極端に変わってしまう



強力な対空防御技を完璧にマスターしたガイルに、飛び込めるキャラはいない

しゃがみ状態が基本だ

ガイルの基本は、しゃがんでの待ち戦法。右向きの場合には十字ボタンを左下に入れることで、防御状態でありながらソニックブームとサマーソルトを同時に準備することができるのだ。この状態から足払いとソニックで相手をけん制し、飛び込んできたらサマーソルトだ。



十字ボタン左下で、しゃがむ



右に入れればソニックブーム



上とキックでサマーソルトだ

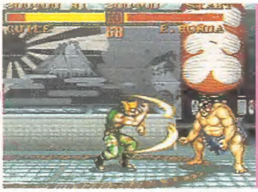
ソニックブームでけん制

地上戦での基本は、中の足払い（スライドキック）で相手をけん制し、ソニックブームがたまったら、ソニックブームもけん制に使う。ソニックブームは、わずかだが防御されてもダメージを与えることができる。このわずかなダメージのつみ重ねが意外に効果的なのだ。

ソニックをためながらスライドキック

スライドキック





ソニックブーム

準備ができたら、ソニックを撃つのだ

多彩な対空防御を誇る

ガイルが持つ対空防御技は豊富。離れた間合いからぎりぎりに接近した間合いまで、あらゆる状況に対応できる。基本は中、近距離に絶大な効果を発揮する立ち中キック（スラストキック）で、まずはこの技をマスターしよう。次に覚えたいのが、広めの間合いに有効なローリングソバットとラウンドハウスキック。そして、最強のサマーソルトキックだ。



サマーソルトキックは豪快かつ強力。全格闘家の中でも最高クラスの対空兵器



正面、真上、やや後方と、幅広い間合いをフォローするスラストキック



立って技を出す余裕がない場合には、しゃがんでアッパーだ



相手との間合いがやや離れている場合は、ソバットが効果的



ソバットとほぼ同様の間合いに有効なラウンドハウスキック

強力な投げ技を使おう

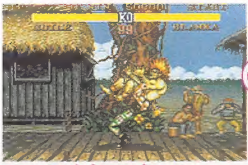
4種類もの投げ、つかみ技を持つガイルは、ザンギエフに次ぐ投げ、つかみ技の達人。ジュードースルーは相手との間合いを離したいときに有効で、ドラゴンスープレックスはその逆、投げたあとに相手との間合いは開かない。加えて、2種類の空中技は絶大な威力を誇る。



投げたあとに間合いが開かず、なおかつ強力なドラゴンスープレックス



空中で相手をとらえて地面に叩きつける空中投げ、フライングメイヤー



まず、間合いが開いてしまわないように投げ技を使う



相手が起き上がってくる瞬間に、小技を防御させておく



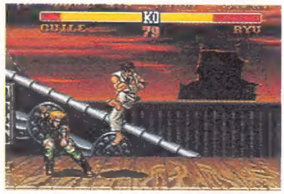
そしてすぐに投げにいく。これが基本的な投げはめだ



ガイルVSリュウ
至近距離への接近を許すな



リュウやケンは接近戦に強いタイプのファイターなので、懐にもぐりこまれてしまうとやっかいだ。ソニックブームとスライドキック、そしてスラストキックをうまく使って、リュウ（ケン）の飛び込み攻撃を完全にシャットアウトしよう。



○接近させてしまうと手強い。いかにこちらのペースで闘うかがポイント

足払いとソニックでけん制

けん制の基本は足払いとソニックブーム。足払いが届かない間合いになったらソニックブームを撃ち、その間に再び間合いを詰めて、足払い→ソニックブームのくり返しだ。パターンを読まれると足払いに昇龍拳を当てられる恐れがあるので、フェイントも使うようにしよう。



○ソニックブームをためながら、スライドキックでけん制



○タイミングを見て、準備しておいたソニックブームを撃つ



○再びスライドキックでけん制していく。この繰り返しだ

間合いは適度に詰めよう

理想的な間合いは、リュウ（ケン）が波動拳を撃った瞬間をバックナックルで狙えるぐらいだ。これより近くても遠くてもリュウ（ケン）の得意とする間合いになってしまうのだ。



○飛び込み攻撃を確実に迎撃するには、地上での間合いも重要だ

弱のソニック



ソニックを追いかけろ



そのままけん制



○間合いが離れたら、弱のソニックブームのあとを追いかけていきながら間合いを詰めていくのだ

波動拳のスキを突け

こちらから攻撃する場合、チャンスはリュウ（ケン）が波動拳を撃った直後。この瞬間にスキができるので、そこを狙って飛び込み攻撃をかけよう。



リュウ（ケン）が波動拳を撃った直後が、最大の攻撃チャンスだ



波動拳を読んで飛びこもう



狙いすまして飛び込み攻撃だ



そこから連続攻撃にいこう

竜巻旋風脚にはアッパー

竜巻旋風脚はしゃがんでかわすのが無難だが、すぐ近くに着地されてしまうと対処に困るので、そんな場合には相打ち覚悟でリフトアッパーを使おう。竜巻旋風脚の真下に入ってしまう前や、通りすぎていく瞬間を狙えば、相打ちになってしまうことも少ないぞ。

このあたりで



これぐらいの間合いまで引きつけて……

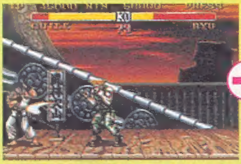
アッパーだ



しゃがんだ状態からリフトアッパーで攻撃

必勝パターン　投げはめが使えるぞ

対COM戦の場合には、スタートしてすぐに接近し、ドラゴンスープレックスで投げを狙える場合が多い。そこから、ソニックブーム→ムエタイキック→投げというパターンで投げはめにいけば、パーフェクトも狙えるぞ。



まず、近い間合いで弱のソニックブームを防御させる



防御している間に、間合いを詰めてムエタイキック



ムエタイキックを防御している間に、投げに持っていくのだ



ガイルVS E.本田

ソニックブームでガンガン攻めろ



E．本田の場合、ソニックブームに対しては飛び込んで攻撃するしか対処方法を持っていないので、ソニックブームと対空防御をうまく使いこなせれば、勝利はほぼ間違いない。E．本田の凄まじいパワーには最大の注意を払おう。



飛び道具は持っていないが、みずからが飛んでくる攻撃を持っているぞ

ソニックでけん制しよう

E．本田に対しては、スライドキックでのけん制は控えたほうが無難。ソニックブームを主体に、どうしても接近されてしまいそうな場合にだけスライドキックを使うようにしよう。理想は離れた間合いでソニックブームの連発だ。



離れた間合いからけん制だ

接近されたら、離れろ

接近されてしまうとE．本田が圧倒的に有利なので、その場にとどまって闘わず、後方にジャンプで逃げて間合いを離そう。後方に逃げるだけのスペースがなければ、足払いとソニックブーム、そして投げを駆使して間合いを離していくしか方法はないぞ。

この距離は危険



これぐらい接近すると、E．本田の間合いだ

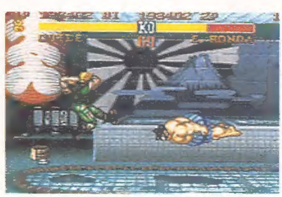
間合いをとろう



後方にジャンプで逃げて、間合いを広げよう

スーパー頭突きの対処方法

サマーソルトの準備ができていれば、スーパー頭突きを迎撃するのはサマーソルトがベストだ。サマーソルトを使えない状況では、ガードするか、後方にジャンプして、着地を狙う方法がいい。



サマーソルトキックで迎撃するのが理想的。堅実にガードしてもいいぞ

飛び込みに注意

E.本田はジャンプが低く、飛び込み攻撃を素早くこなしてくるので、そのぶん対空防御は大変。とくに丸太蹴りは打点が低く、少しでも対空防御が遅れるとヒットしてしまうのだ。E.本田に対しての対空防御は、素早く対応することが基本。もしくはなるべく離れた間合いで対空防御することだ。



丸太蹴りには要注意だ



素早い対空防御が要求される



無理せず防御するのも大切

こちらからは飛び込めない

E.本田が持つ対空防御技は強力で、とくに弱のスーパー頭突きを使っての対空防御は、一瞬の無敵時間を利用して、飛び込んでくるものすべてを撃墜してしまう。いかにガイルといえど、この攻撃に対しては防御する以外に対応策がないので、こちらからの飛び込み攻撃は控えたほうがいいだろう。

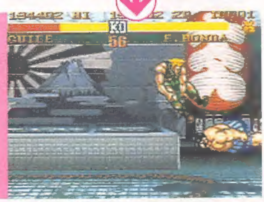
飛び込み攻撃をかけるなら、E.本田が頭突きを準備していない状態を狙う。これは絶対に守るべき基本だ。

飛び込むと…



うかつに飛び込み攻撃をしかけると…

頭突きが!!



無敵のスーパー頭突きで迎撃されてしまうのだ

必勝パターン　飛び込ませてから叩こう

COMのE.本田にスライドキックでけん制すると、スライドキックをかわしたあとに飛び込んでくる。そこを対空防御で撃墜、というパターンを使えば簡単に倒せるのだ。サマーソルトをためながらスライドキックを出し、飛び込みを引きつけて、サマーソルトで迎撃する方法がベストだ。

中の足払い



スライドキックでけん制すると……

飛び込んでくる



飛び込んでくるのでそこを撃墜しよう





ガイルVSブランカ
素早い飛び込みへの対処が問題

ブランカの飛び込みは、ソニックブームを見届けてから飛び込んでも、ガイルのスキを攻撃できるという恐るべきスピードを備えている。この手強い攻撃をいかにして防ぐかが最大のポイント。間合いの取りかたが勝負を分ける。



◆素早い飛び込み攻撃にどう対処するかが、対ブランカ戦最大のポイント

うまくけん制しよう

ブランカとの闘いでは、接近しないことが基本。ブランカの攻撃が届かない間合いからソニックブームでけん制し、素早い飛び込み攻撃と、奇襲ローリングアタックに備えておこう。

離れた間合いで



◆離れた間合いからソニックでけん制しよう

対空防御はソバットで主体で

ブランカの飛び込み攻撃は打点が低いので、対空防御にスラストキックを使うのは難しい。飛び込んでくるところで少し後ろに下がって、タイミングよくソバットで迎撃すれば、ブランカの攻撃は受けない。近い間合いでは、ブランカの下をくぐって投げにいくのも有効だ。

ソニックブーム



◆ソニックブームはこれぐらいの間合いから撃とう

少し後退して



◆飛び込みに合わせて後退しながら、間合いを調節する

ソバット



◆タイミングをはかって、ローリングソバットで撃墜だ

スラストキック



◆真下まで移動できれば、スラストキックで

投げも有効



◆下をくぐり抜けて反対側に回り、投げよう

ローリングアタックを狙え

ローリングアタックにカウンターで攻撃を当てれば、通常の2倍のダメージを与えることができる。相手がローリングを使ってくるタイミングを読んで、弱パンチやサマーソルトで撃墜しよう。



サマーソルトなら威力絶大

対COM用戦法

スライドキックが届かない間合いでスライドキックでけん制すると、反応してブランカが飛び込んでくるので、そこを対空防御で迎撃しよう。目の前まで接近してきたら、ソニックブームが有効。



近い間合いでスライドキックを使うと、その瞬間に反撃されてしまう

この間合いで



スライドキックが届かない間合いが基本になる

スライドキック



まず、空振りするスライドキックでけん制するのだ

飛び込んでくる



するとブランカは飛び込んでくるので、そこを迎撃する

チャンスには連続攻撃でたたみかけよう

ガイルには基本技とソニックブーム、サマーソルトを組み合わせたいくつもの連続攻撃技があるが、なかでももっとも効果的なのが、飛び込み攻撃を低い打点で当てて、着地と同時に弱、中のしゃがみパンチを当て、その瞬間にサマーソルトをヒットさせる「ガイル3段攻撃」と呼ばれる技だ。



飛びこみからの攻撃を低めの打点でヒットさせよう



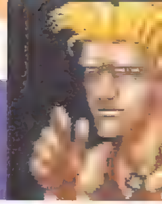
着地した瞬間に攻撃。この間もサマーソルトをためておく



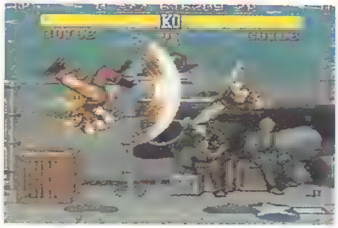
そして、サマーソルトを使う。怒濤の3段攻撃の完成だ



ガイルVSガイル
正確な技と気力のぶつかり合いだ



ガイルとガイル。対空防御に長け、ワンチャンスで勝負を決めてしまうという、恐るべき能力がぶつかり合うため、その闘いは熾烈を極める。ソニックブームの撃ち合いを中心にした闘いになるので、絶妙のタイミングでソニックブームを連発できれば、若干は有利に闘える。



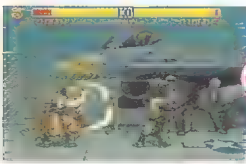
能力は互角、どう攻める？

ソニックと足払いを駆使する

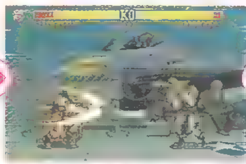
地上戦ではソニックブームの撃ち合い。相手が接近してくるときや、至近距離でソニックブームを撃つときには、スライドキックを使おう。あせって飛び込んでしまったほうの負けだ。



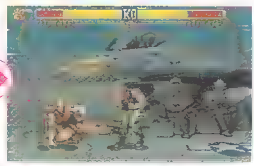
ソニックブームの撃ち合い、素早くソニックを撃てるほうが有利だ



まず、ソニックでけん制、すぐに次を準備しておく



相手より一瞬でもいいから早く、２発目を撃とう



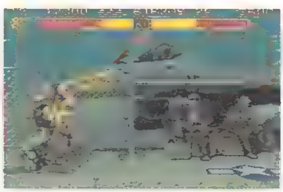
相手がソニックを撃つ瞬間を狙って、スライドキックだ

投げはめは難しい

投げの能力ももちろん同じなので、投げはめも絶対に成功するとは限らない。こちらの投げを投げ返されることもあるし、逆に相手の投げはめを投げ返すことももちろん可能だ。投げを使うなら、相手の意表を突くか、フェイントを併用することが絶対条件だ。



絶妙のタイミングでソニック・ムエタイキック投げを狙っても・・



同じ能力の相手に対しては、必ず通用するとは限らないのだ

フェイントを使った投げはめ

フェイントを使った投げはめで、代表的なものはソニックブーム→ムエタイキック→投げのパターンだが、これを多用しておいてから、突然、ソニックブーム→投げや、ソニックブーム→小技空振り→投げ、といったバリエーションに持っていこう。いかにフェイントを使い分けていくかが、対戦では重要なのだ。



○ソニックを防御させて……



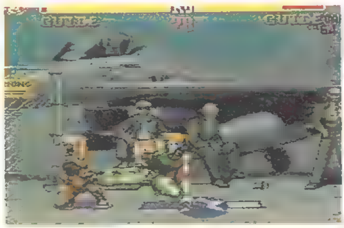
○そのまま投げにいくのもいい



○意表を突く技でフェイントだ

飛び込んでくるのを待つ

ひたすらしゃがんで闘い、相手がしびれを切らして飛び込むまで待ちつづけることが、対ガイル戦では必要。ただし、相手の飛び込みに対して完璧な対空防御ができなければ、この戦法で闘う意味がない。そんな場合はひたすら防御だ。



○しゃがんだままで耐える

相手の戦法を逆手にとろう

相手のペースで闘っているように思わせておいて、相手の攻撃パターンのスキを突いて攻撃するのも効果的だ。狙い目としては、ソニックブームを追いかけて接近してくるところや、ソニックブーム→投げを狙ってくるところ。サマーソルトを準備しておいて、相手がこの戦法を使ってきたらすかさずサマーソルトで反撃してやろう。



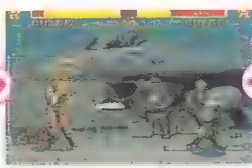
○相手が投げはめを使ってきたら、どこで投げにくるかを読んで……



○投げにきた瞬間にサマーソルトや投げ返しを使って反撃してやろう



○相手がソニックを撃った



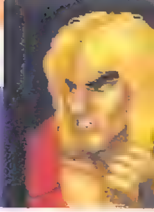
○ソニックのあとを追ってくる



○引きつけて、サマーソルトだ



ガイルVSケン
対COM以外はリュウと同様



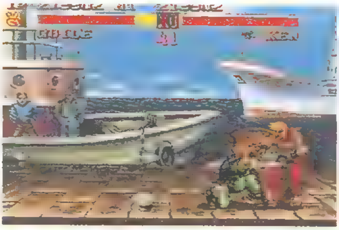
ケンの能力はリュウと同じなので、対戦であれば、闘いのポイントはやはり接近させないことに尽きる。対戦でなく、対COM戦になると、リュウよりも大技を連発してくるという、このケンのほうがはるかに闘いやすいが…。



◯ケンの能力はリュウとまったく同じ。しかしCOMの場合は性格が違う

端に追い詰めていこう

間合いを保ちながら、画面の端へと追い詰めていくのが基本。ソニックブーム→スライドキック→ソニックブームのパターンで、じわじわと追い詰めていこう。ソニック、スライドキックともに、フェイントをかけながら使おう。



◯端まで追い詰めていこう

ソニックブーム



◯まず、ソニックブームで押す

足払い



◯スライドキックでさらに押す

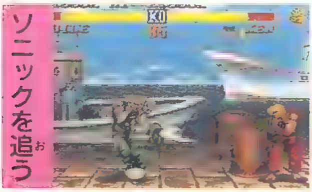
ソニックブーム



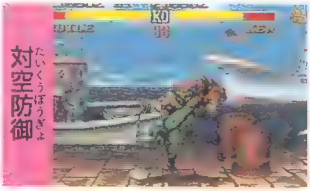
◯そして再びソニックブームだ

弱のソニックを追いかけろ

間合いが大幅に離れてしまったときには、弱のソニックブームを追いかけて間合いを詰めていこう。ソニックを飛び越えて攻撃してきたら、対空防御で確実に撃墜。竜巻旋風脚でソニックを飛び越えられたら、その場でソバットか、すぐにしゃがんでリフトアッパーで撃墜だ。



◯ソニックブームのあとを追いかけていくのだ

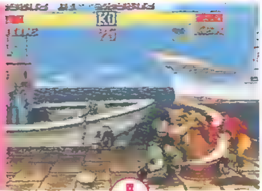


◯ソニックブームを飛び越えてきたら、対空防御

追い詰めたら逃がすな

端まで追い詰めてしまえばもうこっちのもの。そこから逃がしてしまわないように、足払い→ソニックブームや、ソニックブーム→リバーススピンキック、ソニックブーム→投げなどの攻撃パターンを駆使して、じわじわとダメージを与えていこう。ときには攻撃の手を休めて、ケンの出方を待って反撃するのもいい。ソニックブームを飛び越える竜巻旋風脚には常に警戒しておこう。

ソニックから…



ソニックブームでけん制しておいて……

リバーススピン



相手が足払いにくればこのキックが決まる

投げはめも使おう

フェイントを使っての投げはめが、ケン（リュウ）にはやはり効果的。ただし、投げに対して昇龍拳で反撃されると、運が悪ければ1発の昇龍拳が2回ヒットして、その瞬間に気絶させられてしまう。投げるタイミングを読まれないように、巧妙なフェイントをかけよう。



まず、ソニックブームを撃って、ガードさせておこう



ソニックを防御している間に、ムエタイキックを防御させる



そして、投げ。うまく決めれば相手は投げ返せない

必勝パターン　ケンの技を迎撃しよう

COMのケンは、必殺技とジャンプを連発する大味な攻撃をしかけてくるので、それぞれのスキを狙って反撃するだけで勝てる。常にしゃがんだ状態でケンの動きを待ち、スキができたらソニックブーム、サマーソルト、空中投げなどでダメージを与えていこう。波動拳に対しては飛びこみ攻撃だ。

出方を待って



しゃがんでケンの出方を待っていよう

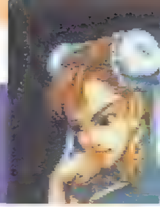
迎撃しよう



スキができたら、すかさず攻撃だ



ガイルVS春麗
相性がいいので闘いやすい



飛び道具系の技を持たず、飛び込み攻撃を中心に闘う春麗は、ガイルにとって歓迎すべき相手だ。体力的にガイルがリードしている限り、春麗は攻めつづけなければならないので、そこを狙ってさらにダメージを与えていけばいい。ただし、春麗得意のかく乱戦法だけは怖い。



春麗の飛び込みは格好の的

地上はソニックと足払い

うかつに飛び込めない春麗としては、地上戦で闘いを挑むしかない。それを見越して、ガイル側はソニックブームとスライドキックで、春麗が接近してくるところを狙えばいい。春麗の中足払い程度は恐るるに足りないが、転ばされてしまう元伝暗殺蹴は確実に防ごう。



春麗が接近してくるところにスライドキックを当ててやろう



足払いと見せかけて、不意打ちでソニックブームを使うのも効果的

対空防御はソバットで

春麗には鷹爪脚という飛び込み攻撃があり、これは対空防御しづらい技だ。この技を防ぐには通常の対空防御ではダメ。春麗の飛び込みに合わせて後退し、ソバットで撃墜してやろう。



飛び込みに合わせて後退して、ローリングソバットで撃墜しよう



小賢しい飛び込み攻撃のすべてを撃墜できるサマーソルト



しゃかんだままの状態からは、リフトアッパーが有効



近めの間合いなら、トラースキックを使うのもいいぞ

飛び越された場合の対応

春麗に飛び越されてしまうと、そこから投げはめに持っていかれることになるので、何がなんでもそれだけは防ぎたい。春麗の着地の瞬間を狙って投げにいくか、着地する前からしゃがみジャブを連発しておいて、振り向いた瞬間に撃墜できるようにしておくか。この2つの方法を状況に応じて使いこなせれば、まず大丈夫。



飛び越しを狙ってきた春麗には、サマーソルトは当たらない



着地の瞬間を狙って投げる。しかしタイミングが難しい



ジャブを連発して、着地する前に撃墜するのも効果的

投げはめの対処方法

春麗の投げはめは、中足払いか中パンチから入ってくることが多い。その直後に投げ返しを狙えば、なんとか投げ返せないことはないが、それよりもサマーソルトでの反撃を狙ったほうが効果的だ。サマーソルトで反撃した場合は、春麗がフェイントで足払いにきた場合でもダメージを与えられるという、大きな利点があるのだ。



春麗は、中足払いを防御させてから投げはめを狙ってくることが多いのだ



投げにくる瞬間を狙って、絶妙のタイミングでサマーソルトを出そう

必勝パターン　飛び込みを待って、サマーソルト

対COM戦では、春麗が飛び込んでくるのをしゃがんで待ち、飛び込みを狙ってサマーソルトを撃つだけでまず勝てる。飛び越えていく場合にだけ注意していれば、パーフェクト勝利も可能。くぐり投げも効果的だぞ。



スタートしたときから、じっとしゃがんでチャンスを待つ



そのうち春麗のほうから飛び込み攻撃をかけてくる



そこを狙って対空防御。この繰り返しで勝てるのだ



ガイルVSザンギエフ
しゃがみ戦法だけで勝てる



接近させてしまうと恐ろしいザンギエフだが、接近させない限りは、まずガイルの敵ではない。じわじわと近寄ってくるところをけん制して、飛び込んできたらサマーソルト。しゃがんだ状態で技を繰り出しているだけで、ほぼ確実に勝てる相手なのだ。


接近戦を挑むのは危険だ

全力で接近を防ごう

ザンギエフにスクリューパイルドライバーはめを使われてしまうと、ガイルといえど相手がミスしない限りは脱出不可能なので、いかに接近させないように闘うかが最大のポイント。ソニックブームは控えて、スライドキックの連発でひたすらけん制し、飛び込みを待とう。


スライトキックを連発して、ザンギエフの地上からの接近を阻もう

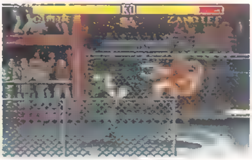

スライドキックにソニックブームを混ぜて、意表を突いた攻撃もいいぞ

対空防御を駆使しよう

ザンギエフの飛び込み攻撃は、E.本田と同様に、低く素早い。これをうまく迎撃できなければ、せっかくの待ち戦法も意味がない。状況を瞬時に判断して、的確な技で撃墜しよう。


ザンギエフの飛び込みを通常の技で撃墜するのは難しいのだ


離れていれば、ローリングソバットで安全に撃墜できる


タイミングよく使えば、ラウンドハウスキックも強力だ


やはりサマーソルトキックで迎撃するのがベスト

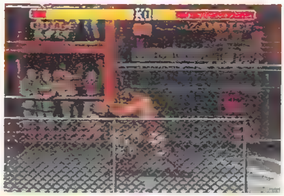
近寄られたら、逃げろ

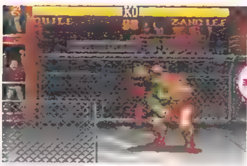
ミスをきっかけに接近を許してしまったら、その場で応戦するのは危険、後方にジャンプで逃げよう。もしも逃げるだけの余裕がなければ、いきなり投げを狙ってみるのも方法のひとつだ。

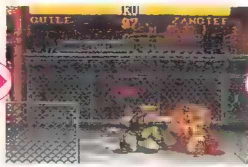

ジャンプで間合いをとろう

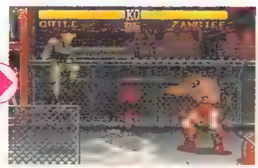
飛び込み攻撃は慎重に

こちらから接近していくことになる飛び込み攻撃は、あまり使えない攻撃方法だが奇襲としては役立つ。ただし、飛び込み攻撃の打点が高いと、着地の瞬間を狙われてしまう恐れがあるぞ。


飛び込み攻撃の打点が高いと、ザンギエフにつかまってしまう


ザンギエフの胸のあたりを狙って飛び込み攻撃をかける


失敗したら着地と同時に中威力の攻撃でけん制して…


ジャンプで後方に逃げて、再び間合いを広げよう

必勝パターン　ソバット連発ではめよう

COMに対しては、足払いやソニックブームでのけん制は危険。基本は垂直ジャンプして近寄ってきたところを攻撃する方法だが、これもあまり効率はよくない。確実に勝つ方法は、やや離れた間合いからソバットを連発して、ソバットに反応してダブルラリアットを出したところを狙うやり方だ

ソバット連発


少し離れてローリングソバットを連発するのだ

ダブルラリアット


すると、ザンギエフはダブルラリアットを使ってくる

スライドキック

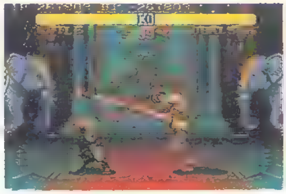

回転している足を狙ってスライドキックで攻撃しよう



ガイルVSダルシム
実力伯仲。堅固な守りを打ち破れ



ダルシムに対して善戦できるキャラは少ないが、ガイルの場合は、善戦どころか圧勝してしまうほどの実力を秘めている。ダルシムの強力なはめ技も、簡単に投げ返しを狙えるガイルは、ダルシムにとって最大の天敵なのだ。



まずダルシムの間合いを打ち破り、ガイルの間合いにまで接近しよう

まず、懐にもぐりこもう

まずはダルシムの長い手足をかいくぐって、懐にもぐりこまなければならない。意表を突いていきなり飛び込んだり、ソバットでズームパンチをかわして接近したりと、あらゆる手段を駆使しよう。



芸のない飛び込み攻撃をかけると、返し技で簡単に撃退されてしまう

いきなり飛び込む



小細工と見せかけて、正面から堂々と飛び込んでいくのだ

ソバットでフェイント



ソバットでダブルズームパンチをかわし、そこから接近する

ガイルキック



ダルシムの対空防御を打ち破りやすいのがこのキックだ

ファイヤーはソニックで消せ

ヨガファイヤーをジャンプでかわすと、長い手足の絶好の的にされてしまうので、体力に余裕のあるうちはガードするのが良策。それよりもさらに効果的なのは、ソニックブームで相殺すること。ソニックは撃つまでに時間がかかるので、ファイヤーを連発されると押されてしまうが、離れた間合いでの勝負なら、ほぼ互角の闘いも可能だぞ。



ヨガファイヤーに対して、垂直ジャンプでかわすのだけは禁物なのだ



ソニックブームが準備できていれば、ソニックブームで相殺するのがベスト

間合いを詰めたら投げだ

ひとたび懐にもぐりこんだら、徹底的に投げを使おう。ダルシムの投げの間合いは広いが、ガイルのそれもほぼ同等に広い。いちど投げることに成功したら、そこから一気に投げはめに持っていって、反撃させないように倒してしまおう。ソニックブーム→ムエタイキック→投げのパターンがかなり効果的だ。



フェイントをかけて、うまく飛び込むのに成功した　ダルシムは後退していく



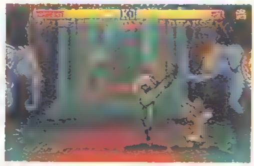
ダルシムに反撃するスキを与えず、すかさず投げ技に持っていこう



小技でけん制して、そこから投げはめに持っていこう



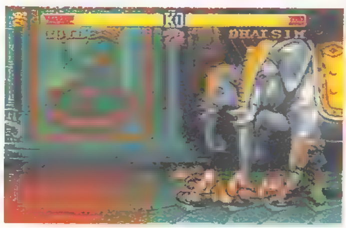
スキを突いて接近して、いきなり投げるのもいい戦法だ



意表を突いた技から投げにいくのも成功しやすいぞ

スライディングを狙え

ダルシムは、ソニックブームを撃った瞬間をスライディングで攻撃するパターンを得意としている。これを利用して、ソニックブームをくぐってきたところを狙ったり、離れた間合いからスライディングで接近してくるところを狙おう。



このあとは攻撃のチャンス

必勝パターン　飛び込み攻撃でスキを誘え

COMのダルシムは、こちらの飛び込み攻撃に敏感に反応して、ヨガフレイムやジャンプ、スライディングを使ってくる。ヨガフレイムとジャンプは失敗することが多く、よく無防備状態になってくれるので、そこを狙って空中投げや地上投げで反撃していこう。ただし、これだけを使うのは考えもの。

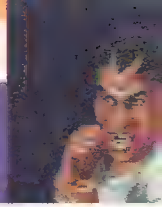


着地した瞬間は絶好の反撃チャンスだ



ガイルVSバイソン

一撃の威力を警戒。パターンで闘おう



バイソンとの闘いでもっとも注意したいのが、その攻撃力の高さとバイソン特有の猛ラッシュ。とくにダッシュ攻撃は強烈で、数発くらってしまっただけで、体力の半分を奪われてしまう。それだけに正面から闘うのは危険なので、パターンにはめて倒すようにしよう。



バイソンの攻撃力は怖い

基本はスライドキック

基本パターンはスライドキック→対空防御のけん制パターン。スライドキックに対しての反応は敏感で、すぐに飛び込んできてくれるのだ。この飛び込みに対しては、ほとんどの対空防御技が通用するが、くぐり投げだけは飛び込むタイミングを読んでおかないと難しい。

スライドキック



届かない間合いでスライドキックを使う

飛び込んでくる



すると、即座に飛び込んでくるのだ

飛び込みを狙おう

飛び込みに対しての対応は、ラウンドハウスキック、トラースキック、サマーソルトキックあたりがいい。くぐり投げを狙う場合には、飛び込みを予想して早めに前進しておこう。

サマーソルトキック



対空防御にはサマーソルトキックを使おう



離れた間合いの場合は断然ローリングソバットが効果的だ



サマーソルトが準備できていない場合には、トラースキック



くぐり投げは難しいが、成功すれば効果は高い

バックナックルだけで倒せる

足払いパターンのほかにも、スピニングバックナックルだけで倒してしまうという方法もある。バックナックルが届くギリギリの間合いからバックナックルを打つだけで、ほぼ確実にヒットしてくれるのだ。うまく間合いを調節しながらタイミングよく攻撃していけば、気絶させることも簡単。かなり難しいが、ボディアッパーを使って同様のパターンで闘うことも可能だ。



↑スピニングバックナックルが届くギリギリの間合い



↑この間合いからおもむろにスピニングバックナックルを打つ



↑間合いが完璧なら、バイソンに反撃されずにヒットする

ラッシュにはサマーソルト

怒涛のラッシュが始まったら、最初の数発は堅実にガードして、サマーソルトキックを準備しておこう。反撃のチャンスは、ダッシュ攻撃をガードして次の攻撃がくるまでの一瞬。この瞬間にサマーソルトキックを出せば、ラッシュ攻撃から脱出することができるのだ。



↑ラッシュが始まったら、まずしゃがんで防御を固める



↑タイミングをはかって、サマーソルトを狙おう



↑豪快にサマーソルトがヒット！　ラッシュからの脱出成功

ターンパンチに注意!!

バイソンが後退していった直後や、こちらが気絶したときに、バイソンはターンパンチという攻撃を使ってくる。このパンチはザンギエフのスクリューパイルドライバーにも匹敵する威力を持っているので、絶対に防御するようにしよう。気絶させられてしまったら、全力で立ち直りをはかれ。モタモタしているとターンパンチのえじきだ。



↑バイソンが突然立ち止まり、背中を向けたらターンパンチがくる合図だ

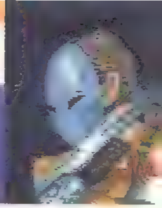


↑ヒットしてしまうと、スクリューパイルドライバーなみのダメージを受ける

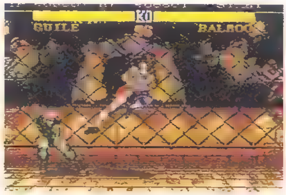


ガイルVSバルログ

俊敏な動きは、パターンにはめて封じよう



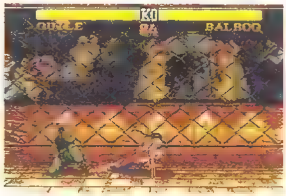
バルログはこちらの攻撃をほぼ確実に返してくるので、こちらから攻撃するのは無謀。攻撃できるチャンスを気長に待つか、バルログの特性を利用した攻撃パターンを使ってはめるかの2種類の必勝法を使い分けていこう。



攻撃のチャンスがくるまではひたすらガードを固めて耐えつづけよう

画面の左側で防戦しよう

バルログの出方を待つ場合は、まず画面の左端まで移動しておこう。三角跳びを迎撃するパターンは、画面の端から端までの距離がないと失敗してしまうことが多くなるのだ。



なるべくステージの左側へ移動して、チャンスがくるのを待とう

三角跳びが反撃のチャンス

バルログが三角跳びを仕掛けてきたら、着地した直後を狙えるようなタイミングで強威力の飛び込み攻撃を仕掛けよう。そのときにうまく攻撃がヒットしたら、一瞬の間を置いてすかさず次の飛び込み攻撃にいこう。これを繰り返していけばバルログは気絶するのだ。

三角跳び



三角跳びにくる瞬間だ

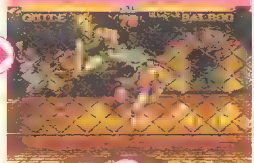
ここでジャンプ

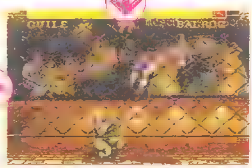


これくらいのタイミングで

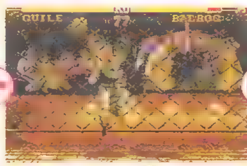
着地の直後を狙って攻撃

サイドキック





着地して、一瞬の間をとる



再び飛び込み攻撃にいこう



これを繰り返せば、気絶する

気絶させたら投げ戻そう

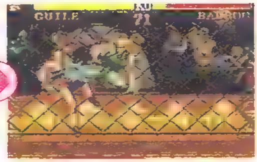
バルログを気絶させたあとは、連続攻撃でダメージを与えるチャンスだ。しかし、より確実な勝利を望む場合、そこからこれまでとは逆の方向に投げ戻して、ふたたび強威力での連続飛び込み攻撃に持っていくべきだ。この方法なら、ほぼ間違いなくとどめを刺すことができるので、初心者におすすめだ。



⬆飛び込み攻撃パターンでバルログを気絶に追いこんだら……



⬆来た方向に向かってドラゴンスープレックスで投げ戻す



⬆起き上がりを狙って、再び飛び込み攻撃のパターンだ

ソニックはめも可能

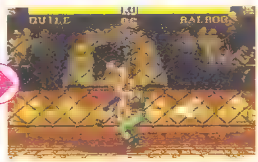
離れた間合いで弱のソニックブームを撃ち、そのあとを追いかけていくと、バルログが頭上を飛び越してくる。その着地を狙って投げ、起き上がる瞬間に再びソニックを撃てば、そこから、追いかけ→飛び越し→投げ、というパターンにはめることができるぞ。



⬆これぐらいの間合いで、ソニックブームを撃とう



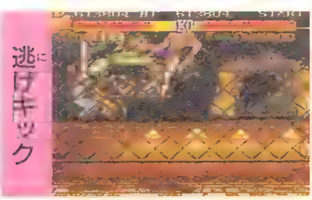
⬆バルログはソニックブームを飛び越えて、反対側に回る



⬆バルログの下をくぐり抜けて、着地の瞬間に投げよう

バルセロナにはサマーソルト

バルログの必殺技、バルセロナアタックに対処するには、サマーソルトキックか逃げジャンプからの強キック。この方法がベストだろう。



⬆サマーソルトを出せないときには、逃げキック



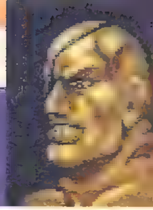
⬆バルログが壁に張りついたら、しゃがんでサマーソルトの準備に入ろう



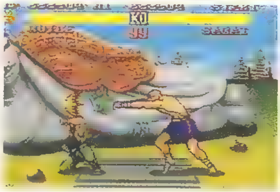
⬆落下してくるところを引きつけて、サマーソルトで迎撃しよう



ガイルVSサガット
持ち技を駆使して、全力で闘おう



サガットに対しては絶対に勝てるというパターンが存在しないので、実力で闘わなければならない場面が数多くある。中途半端なパターンには頼らず、実力勝負、とわりきって挑もう。ポイントはタイガーショットのスキを突くことだ。

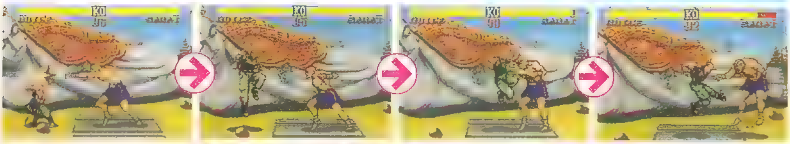


◆サガットに対して、確実に勝てるパターンというものは存在しないのだ

スタート時の対応がすべて

開始直後のサガットの動きに対して、どう対応するかが明暗の分かれ目。タイガーショットを撃ってきた場合は、2発目を撃ってくるタイミングで飛び込んでいけば問題ないが、タイガーショットを撃ってこなかった場合が問題。そのときは防御を固めて、チャンスを待とう。

タイガーショットを撃ってきた場合



◆1発目はかわして、2発目を撃ってくる瞬間を狙って飛び込みから連続攻撃をしかけよう

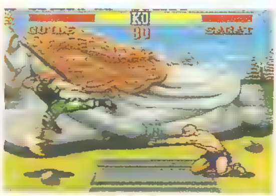
タイガーショットを撃ってこなかった場合



◆タイガーショットを撃ってくるまでひたすら防御して、チャンスが来たらすかさず飛び込もう

下段タイガーショットにはソバット

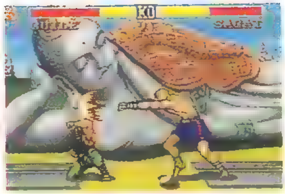
弱威力の場合は不可能だが、中、強威力で繰り出されるスピードのある下段タイガーショットはソバットでかわすことができるのだ。離れた間合いでタイガーショットをかわすときに使おう。



◆中、強威力の下段タイガーショットは、ローリングソバットでかわせる

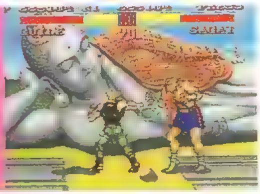
至近距離での攻防

サガットが至近距離で上段タイガーショットを撃ってきた場合は、絶好の攻撃チャンス。このタイミングに確実にダメージを与えておこう。



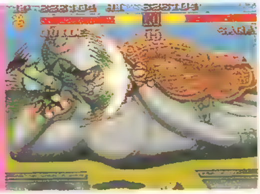
至近距離で上段タイガーショットを撃ってきたときは攻撃のチャンス

バックナックル



立ち上がって、バックナックルを当てよう

サマーソルト



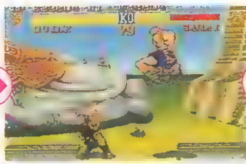
準備ができていればサマーソルトを使う

基本は足払いパターン

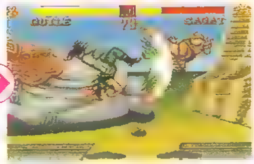
サガットとの間合いが、スライドキックが届くぐらいにまで接近すれば、スライドキックでけん制してサガットのジャンプを誘うことができる。ただし、サガットの飛び込み攻撃は通常の対空防御では撃墜できないので、絶対にサマーソルトキックを使うようにしよう。



ヒットしない間合いからスライドキックでけん制しよう



するとサガットは垂直か前方にジャンプしてくるのだ



飛び込みへの対空防御には、サマーソルトキックを使おう

空振りアッパーは絶好のチャンス

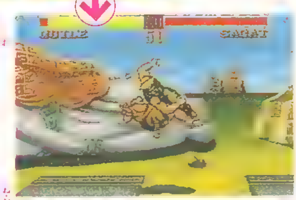
至近距離からタイガーアッパーカットを空振りしてきたときも、絶好の攻撃チャンス。強威力での攻撃か空中投げを使ってダメージを与えてやろう。



強威力のタイガーアッパーカットを空振りしたときは絶好のチャンス



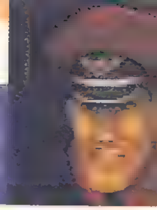
タイガーアッパーの直後への攻撃は、通常よりも高いダメージを与える



降りてくるところを狙ってジャンプして、空中投げに持っていこう



ガイルVSベガ
猛攻に耐え、チャンスを待て



うまくパターンにはめていかないと、怒涛の猛攻で一瞬のうちに負けてしまう相手だ。突然襲いかかってくる数々の攻撃を封じ、防御を固めながらひたすらチャンスの到来を待ちつづけよう。ひとたびパターンにはめれば、もうこっちのものだ。



攻めていくのは難しい

開始と同時に中足払い

開始前からしゃがんで中キックボタンを連打して、開始と同時にスライドキックを出せるようにしよう。ここでスライドキックが出れば、ベガの奇襲攻撃を封じることができる。開始と同時のソニックブームは、奇襲をうけるとひとたまりもないので、厳禁だ。



開始前のメッセージ。このときからスライトキックを準備



スライドキックが出て、ベガが奇襲をかけてこなければ成功



間を置いて飛びこんできたら、即座にサマーソルトで迎撃だ

中足払いで飛ばせて攻めろ

スライドキックを連発すると、ベガは前方、垂直、後方のどれかにジャンプする。ガイルの正面に飛んでくるジャンプと垂直ジャンプはサマーソルトで迎撃。飛び越されそうな場合は防御しよう。



真上かやや前方を狙って飛び込んできたら、迎撃するチャンスだ



ひたすらスライトキックを出しつづけて、飛び込みを待て



迎撃にはサマーソルトを使うのがベスト。それ以外は難しいのだ

ヘッドプレスのあとを投げろ

ベガがヘッドプレスをしかけてきたら、まず防御して、そのあとベガが後方に飛んでいくところを狙って空中投げにいこう。防御が解けた瞬間に、体は前を向いたままで後方にジャンプしていくのがポイント。空中でつかまえるタイミングは、ジャンプしたガイルがベガの正面に回りこんだ瞬間だ。



ヘッドプレスにきたら、すかさず立ってガードしよう



背後に回るのを追いかけて、後方にジャンプしよう



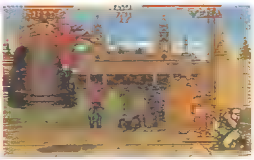
ベガの前方に回りこんだ瞬間に、空中投げにいける

サイコクラッシャーの返しかた

ベガの体力が残り少ないときに、ベガが後方に大きくジャンプしたらサイコクラッシャーの前兆。ジャブを連打するか、ソニックブーム、サマーソルトキックで迎撃できるぞ。



ジャブを連打していれば、サイコクラッシャーアタックは迎撃できる



体力の少ないベガが後方に大きくジャンプしたら、サイコクラッシャーの合図



先手を打って、サイコクラッシャーの鼻先にソニックブームを撃つのもいいぞ

相打ちにも持ちこめる

点数稼ぎにしか使えないが、サイコクラッシャーを狙って相打ちにする方法もある。うまくタイミングをはかってバックナックルを繰り出せば、サイコクラッシャーとバックナックルがぶつかり合い、双方ともダメージを受ける。ダブルノックアウトを狙いたいときに使おう。



サイコクラッシャーがきたら、立ったままで待っていよう



これくらいの間合いで、バックナックルを出そう



ガイルは炎に包まれ、ベガははじけ飛ぶ。相打ち成功だ

ボーナスステージ トラースキックとドラゴンスイープで壊せ

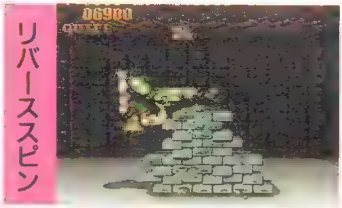
ソニックブーム、サマーソルトキックという強力な必殺技も、ボーナスステージでは威力を発揮しない。ここはトラースキックとドラゴンスイープ、基本的な強威力の攻撃を使って壊していこう。早い時間でクリアするコツは、トラースキックを多用すること。これがボーナスステージでは最速の攻撃方法なのだ。

ボーナスステージ1

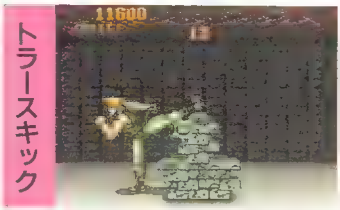
左側からすべて壊せるステージ。まずトラースキックで2個のブロックを壊して、反対側のブロックはリバーススピンキック。そして仕上げはトラースキックかドラゴンスイープだ。



左端と上段のブロックはトラースキックで破壊



右側のブロックを壊せる



最後もトラースキックだ

ボーナスステージ2

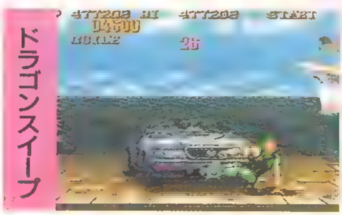
ここは両側にまわらなければ壊せない。まず左側にトラースキック3発。そして、前方ジャンプの瞬間にサイドキックで左側を完全に壊し、あとは右に回って壊していくだけだ。



前方にジャンプした瞬間に、サイドキックだ



トラースキック4発



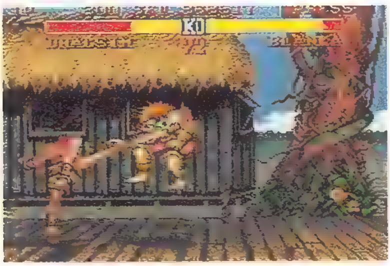
最後はこれで壊していく

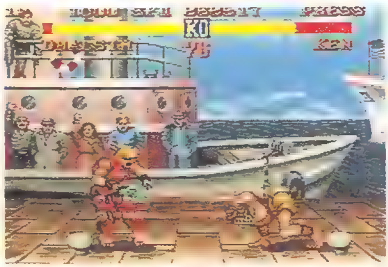
攻略編 ダルシム

相手を寄せつけない、ヨガの奥義の数々

STREET FIGHTER II

手足を伸ばして攻撃するという特殊能力を持つ唯一の戦士。多大なメリットの反面、動きが鈍いという弱点が。ハンデをどう克服するかが最大のポイントだ。





基本的な闘い方 遠距離からの待ち戦法

ダルシムは動きが鈍いため、素早い行動が必要となる接近戦には向いていない。この弱点を補うには、離れて闘うという戦法を使えばいいわけだが、そのためには相手の接近を確実に防ぐ、という大前提が必要。完璧な対空防御と絶妙のけん制を使いこなせることが、ダルシムで闘うための必要条件。この条件を満たせれば、ダルシムは最強クラスの戦士に成長するのだ。



ダルシムの持ち技には、間合いをとって闘うのに適した技が圧倒的に多い



離れてヨガファイヤーを撃ち、飛びこみを迎撃するのが得意のパターンだ

長い手足で相手を遠ざけろ

相手を遠ざけるための手段として、もっとも基本的なのが長い手足を防御させて、相手を少しずつ後退させていく方法だ。このときに使うのは、おもにズームパンチと中威力のズームハイキック。ただし、出すタイミングを読まれると、伸ばした手足を攻撃されてしまうのだ。



もっとも基本的なのが、このズームパンチで遠ざけていく方法だ



ヨガファイヤーを防御させて間合いを離すのも効果的な方法のひとつ

離れたらヨガファイヤー

相手との間合いが十分にとれたら、今度はヨガファイヤーでけん制していく。このときには弱、中、強の威力を使い分けてヨガファイヤーのスピードを変え、相手のミスを誘おう。強だと思って垂直にかわした相手が、弱に当たってしまうということがよくあるのだ。



相手との間合いが十分に離れたら、すかさずヨガファイヤーでけん制



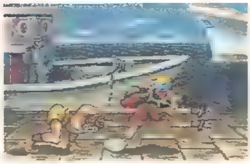
ヨガファイヤーに緩急をつけて、相手の読み間違いを誘うようにしよう

相手を寄せつけない対空防御

ダルシムの最大の強さは、飛び込んでくる相手を寄せつけない対空防御にある。しかし、ひとつタイミングを間違えると、飛び込んでくる相手に手足を狙われたり、相打ちにもちこまれたりする。状況に応じた対空防御技の使い分け、これを完全にマスターしなければ、ダルシムの真の強さは発揮されない。基本はズームハイキック、ダブルズームパンチでの対空防御で、さらに応用としてジャンプからのズーム攻撃、スライディングでの対空防御と、実に多彩だ。



⬆離れたところから飛んでくる相手にはズームハイキック



⬆着地するところを狙ってダブルズームパンチを使おう



⬆接近している場合には、中、弱の攻撃が効果を発揮する

接近されたらはめを使おう

強力なはめ技を持っているのも、ダルシムの強みのひとつだ。ヨガファイヤーや小技からヨガスマッシュ、ヨガスルーにつなぐ技が主体で、相手の意表を突けばまず間違いなく成功させることができる。さらにドリル攻撃からのはめやスライディングからのはめもあるので、それぞれ研究して、いろいろなバリエーションの投げはめを身につけよう。

ヨガスマッシュはめ



⬆まず、ヨガスマッシュに持っていこう



⬆離れた瞬間に、相手を追いかけていく



⬆着地の瞬間に小技を防御させて……



⬆すぐにつかまえてヨガスマッシュだ

ヨガファイヤーはめ



⬆まず、相手を画面の端で転ばせておく



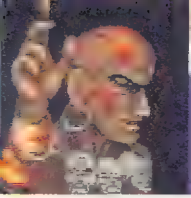
⬆起き上がる瞬間を狙って、ヨガファイヤー



⬆防御中に踏みこんで、間合いを詰める



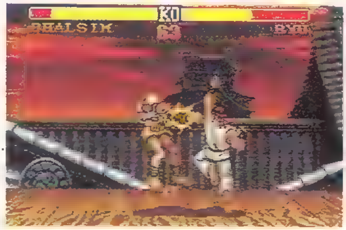
⬆そのままヨガスルーで投げてしまうのだ



ダルシムVSリュウ
接近されると手に負えない相手だ



接近戦には弱いダルシムにとって、接近戦から一気に攻めてくるリュウ(ケン)は強敵だ。近距離への接近を完璧に封じて、ダルシムのペースで闘うためには完璧な対空防御が必要。フェイントをうまく使いこなして、リュウが実力を出せないように遠距離戦を挑もう。



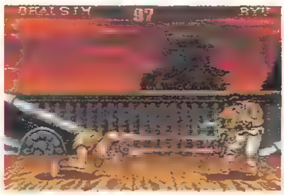
◆懐に入られるとつらい

まず間合いを離そう

遠距離戦を挑むためには、まず間合いを離してしまうことが必要。しゃがみズームパンチやダブルズームパンチ、ヨガファイヤーなどを防御させて、うまく相手を遠ざけていこう。このときには、相手の飛び込みをけん制してズームハイキックも使うようにしよう。



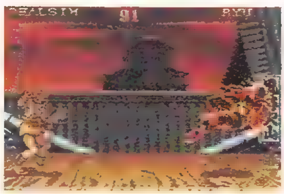
◆間合いを離すときの基本技 まずは中のしゃがみズームパンチだ



◆さらにダブルズームパンチを打って、完全に間合いを離せば安心だ

ヨガファイヤーでけん制する

間合いを離すことができたら、すかさずヨガファイヤーでけん制していこう。相手が間合いを詰めてきたら、ズームパンチやズームハイキックでけん制、飛び込んできたら対空防御だ。



◆弱と強のヨガファイヤーを撃ち分けて、うまく相手のミスを誘う



◆離れた間合いからヨガファイヤーを撃ってけん制する



◆飛び込んできたら、確実かつ正確な対空防御で迎撃しよう



◆対空防御のあとは、着地の瞬間を狙ってヨガファイヤーだ

スライディングで波動拳をかわす

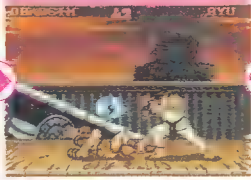
リュウ（ケン）が間合いを詰めて波動拳を撃ってきたら、波動拳を撃つ瞬間を狙ってスライディングで攻撃しよう。強のスライディングを使えば、かなり遠くからでも攻撃できるうえに、ヒットすれば相手を転ばせることができるので便利。場合によっては、弱、中のスライディングから投げにいくのも効果的だ。

これぐらいの間合い



○使う威力のスライディングがギリギリ届く間合いがベスト

スライディング



○波動拳を撃ってきた瞬間に、スライディングでくぐる

ヒットする



○すると、波動拳後のスキを突いてスライディングがヒット

先読み昇龍拳に注意しよう

昇龍拳は、タイミングさえ合えばダルシムの伸ばした手足を完璧に迎撃できる。この、先読みから繰り出される昇龍拳を防ぐには、手足を伸ばすときのリズムを一定にしないこと。フェイントをかけながら闘うことが大切なのだ。



○先読み昇龍拳には要注意

必勝パターン　ズームパンチで昇龍拳を誘おう

対COM戦では、ダブルズームパンチを出しているだけで勝てる。離れた間合いからダブルズームパンチを出すと、COMはそれに反応して昇龍拳を打ってくるので、その着地際を狙って再びダブルズームパンチでダメージを与える。離れた状態でこの戦法を繰り返していれば、確実に勝てる。



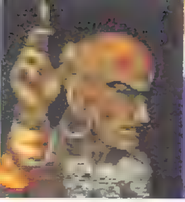
○まず、ズームパンチで攻撃する。当たらなくてもいいぞ



○すると反応して昇龍拳を撃ってくるので……



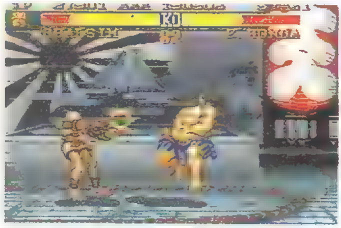
○着地の瞬間を狙って、ダブルズームパンチで攻撃しよう



ダルシムVS E.本田
凄まじい威力の相打ち戦法が怖い



飛び道具系の技を持たないE．本田は、ダルシムにとっては格好の対戦相手。しかし、E．本田の飛び込み攻撃はダルシムの対空防御技と相打ちになることが多く、結果、力のないダルシムが徐々に押されていくという形になる。相打ち戦法を封じる闘いかたが要求される。



相打ち戦法に注意しよう

まず、ジャンプで間合いをとる

開始と同時に後方にジャンプして、E．本田との間合いをとろう。そのときにE．本田がスーパー頭突きを狙ってきた場合は、タイミングをはかってジャンプズームパンチかドリルキックで撃墜できる。うまく間合いを離せたら、すかさずヨガファイヤーでけん制していこう。

ドリルキック



素早く頭突きを出してきたら、ドリルキック

ジャンプズームパンチ



余裕がある場合にはジャンプズームパンチ

相打ちに気をつけて闘おう

E．本田の飛び込み攻撃に対して、地上からの対空防御は難しい。ダブルズームパンチやスライディングで対空防御するか、ジャンプ攻撃での対空防御を心がけて、相打ちを防ごう。



うかつな対空防御技を使うと、相打ち戦法のえじきにされてしまうぞ



飛び込んできても、地上からは対空防御技を出さずに……



タイミングをはかって垂直か後方にジャンプしよう



飛び込んできたところを狙って、空中から撃墜だ

スーパー頭突きのかわしかた

スーパー頭突きを使ってくるタイミングが読めれば、頭突きにきたところをスライディングでかわして反撃するか、ジャンプ攻撃で撃墜してやろう。



○ドリルキックで迎撃する場合には、相打ちには十分に注意しよう



○少し引きつけて、弱か中のスライディングで頭突きをかわそう



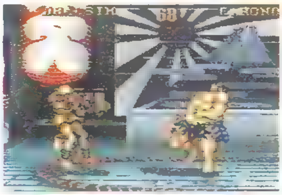
○起き上がった瞬間に、ダブルズームパンチで攻撃だ

着地際を狙うのは危険

ダブルズームパンチ、スライディングで対空防御するときには、E.本田に読まれないように気をつけよう。飛び丸太蹴りを低い打点で出されてしまうと、ズームパンチ、スライディングは撃墜されてしまうのだ。ズームハイキックと見せかけて着地を狙うのがベストだ。



○ダブルズームパンチを相手に読まれてしまうと



○うまくタイミングを合わせて相打ちにされてしまうのだ

必勝パターン　飛ばせて、迎撃しよう

COM戦では、中のズームパンチやヨガファイヤーでジャンプを誘って、飛び込んできたところをズームハイキックで迎撃するパターンが有効。接近されたら投げで間合いを離して、再びジャンプさせるパターンで闘おう。



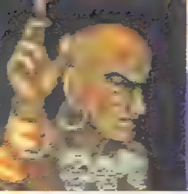
○少し間合いを離して中のズームパンチでけん制する



○すると、E.本田はひっかかって飛び込んでくる



○対COMの対空防御は、ズームハイキックで十分だ



ダルシムVSブランカ

強力な飛び込み攻撃への対処がすべて



素早くて強力な飛び込み攻撃を持つブランカは、ダルシムの天敵のひとり。動きの遅いダルシムに対して、ブランカはスピードを生かしたかく乱戦法を使ってくる。ブランカにペースをつかませないように闘うことをこころがけないといけない。



飛び込み攻撃がクセ者だ

技を駆使して間合いをとれ

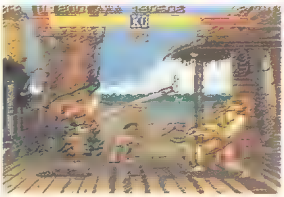
ブランカとの闘いで理想となる間合いは、ブランカが飛び込んできてもダルシムに攻撃することはできず、しかしダルシムは反撃できる間合いだ。まずは理想の間合いになるまで地道にけん制して、飛び込み攻撃の芽をつぶしておこう。



うまく間合いを離そう



ダブルズームパンチを使って、思いっきり間合いを離してしまおう



飛び込みを警戒して、ズームハイキックも要所で出しておこう

通常の対空防御は危険

ブランカの飛び込み攻撃で恐ろしいのは、中のパンチでフィストドロップを出してきた場合。この技は下からの攻撃に強く、ダルシムの地上からの対空防御技を寄せつけないという特性を持っているので、撃墜するためには通常の対空防御技では難しい。



対空防御技を間違えると、一方的に攻撃されてしまうことになる



フィストドロップを使われると、運がよくても相打ちになる

対空防御にはジャンプ技

フィストドロップを使っての飛び込み攻撃に備えて、対空防御には常にジャンプ攻撃を使うようにしよう。飛び込んでくるブランカとの間合いをよく見て、ジャンプズームパンチとジャンプズームハイキック、そしてドリル攻撃をうまく使い分けることができるようになれば、ブランカに対する対空防御は完璧だ。

ジャンプズームハイキック



○高いところで迎撃するときにはこの技だ

ジャンプズームパンチ



○基本はこの技。低いところを狙うのだ

ローリングはまず防御

ダルシムの持ち技は、ブランカのローリングアタックが飛んできているところを迎撃するのには向いていない。この技に対しては、まず防御しておいて、跳ね返っていくところをダブルズームパンチで追撃する方法を使おう。少しダメージを受けるが相手の方がイタイ！



○ローリングアタックの迎撃は難しい。ガードしておこう



○そして、ブランカが跳ね返っていくところを狙って……



○素早くダブルズームパンチで追撃してやろう

必勝パターン　中のズームパンチではめよう

COMのブランカは中のズームパンチに反応して飛んでくるので、この特性を利用して闘おう。ある程度間合いを離したら、中のズームパンチでジャンプさせて、そこを対空防御で撃墜だ。離れていれば弱のファイヤーも効果的。



○まずは飛び込みに注意しながら間合いを離しておこう



○中のズームパンチでけん制していると、飛び込んでくる



○確実に対空防御。ズームハイキックでも大丈夫だ



ダルシムVSガイル

絶対に近寄らせたくない相手だ



数ある強敵の中でも、最もいやな相手がこのガイルだ。ひとたび懐にもぐりこまれてしまうと、対処できないうちに倒されてしまう可能性が高い。ダルシムと闘って常勝できる可能性を持つ唯一のファイターだけに、慎重に闘いたい。



◯細心の対空防御で、飛び込み攻撃は完璧にシャットアウトしよう

間合いをとっておこう

どの相手との闘いでもそうだが、特にガイルが相手の場合、間合いを離して闘うことは何よりも重要だ。手足を狙ってくるサマーソルトに気をつけて、少しずつ間合いを離していこう。



◯こまめに間合いを離すようにしておけば、安心して闘える

ひたすらファイヤーを撃つ

ひとたび間合いを離したら、2度と接近させてはいけない。ヨガファイヤーとズームパンチ、ズームキックでけん制し、飛び込んできたら確実に撃墜しよう。ヨガファイヤーを撃つときには、ガイルにタイミングを読まれないよう、フェイントをかけることを忘れずに。



◯間合いが離れたら、ヨガファイヤーでけん制していこう



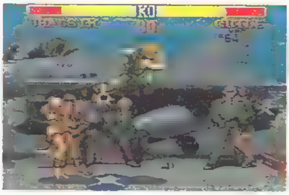
◯飛びこんできたら、よく狙ってすかさず対空防御



◯着地の瞬間を狙ってヨガファイヤーを撃っておこう

ガイルキックに要注意

ガイルの飛び込み攻撃の中でもっとも注意したいのが、中のキックで飛び込んでくるガイルキックだ。この技はダルシムの対空防御技と相打ちになりやすいので、引きつけて迎撃するのは危険。



◯ガイルの飛び込み攻撃のなかで、もっとも撃墜しづらい技だ

ソニックを狙い撃とう

相手がソニックブームを撃ってきた瞬間は反撃のチャンス。スライディングやズームパンチ、ズームハイキック、ジャンプ攻撃などで狙い撃とう。

スライディング



○スライディングでくぐって、そのまま攻撃

撃った瞬間を



○撃ってきた瞬間を見て……

上から攻撃



○ジャンプした瞬間に攻撃する

相打ち



○相打ちにも持ちこめるぞ

必勝パターン　2種類のはめがある

中威力のズームパンチを使った2種類の方法で、COMのガイルをはめることができる。どちらもズームパンチを防御させて、ソニックブームを撃ってくる瞬間を叩く方法だ。ズームパンチを連発してはめる方法のほうが、安全性は高いので、慣れないうちはこの方法を使えばいいだろう。

至近距離で中パンチ



○まず、これぐらいの間合いでズームパンチを出す

すぐに中パンチ



○すぐにズームパンチ　ソニックブームを撃っているが……

ソニックを消せる



○ズームパンチのほうが先に当たって、ソニックは消える

中ズームパンチ



○やはり、ズームパンチをガードさせておくのだ

ソニックがくる



○ソニックブームがくるので、すぐに強スライディング

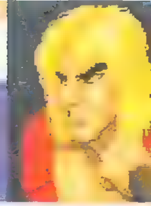
強スライディング



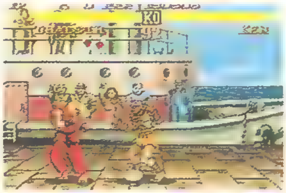
○ソニックをかわして、転ばせてしまうことができる



ダルシムVSケン
リュウと同様、やはり接近されると怖い



ケンの能力はリュウと同じなので、対戦での闘いかたもリュウと同じ方法で大丈夫。接近戦に持ちこまれないように対空防御を確実にこなし、手足を狙ってくる昇龍拳を警戒しながら闘う。対リュウ、ケンはこの戦法に尽きる。



○接近されると闘いづらくなるのも、リュウとまったく同じなのだ

やはり離れて闘うべき

昇龍拳に注意して間合いを離したら、あとはその間合いを詰められないように、ズームパンチ、ズームハイキック、ヨガファイヤーをうまく使い分けてけん制していこう。



○得意の接近戦に持ちこまれないように、かたくなに離れて闘う

ファイヤーと波動拳の撃ち合い

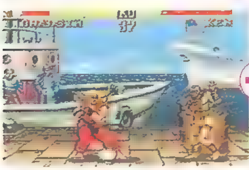
離れた間合いでは、ヨガファイヤーと波動拳の撃ち合いになる。ヨガファイヤーも波動拳も撃つまでにかかる時間は変わらないので、正確にコマンドを入力して、撃ち負けないようにしよう。



○ヨガファイヤーと波動拳の熾烈な撃ち合い。撃ち負けは許されない

波動拳をくぐって攻撃

やや接近した間合いで波動拳を撃ってきた場合は攻撃のチャンス。波動拳の下をスライディングでくぐり抜けて、投げるか転ばせるかでダメージを与えるようにしよう。相手の残り体力がパンチ1発分ぐらいのときには、波動拳後のスキをジャンプ攻撃で狙う方法も有効だ。



○近めの間合いで波動拳を使ってきた場合は



○素早くスライディングを使って波動拳をかわして……



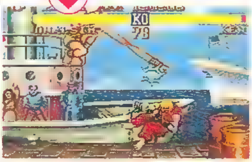
○そのまま転ばせてしまうのがベストの対処方法だ

竜巻旋風脚は上から撃墜

ケン（リュウ）の持ち技のなかで、対ダルシム戦に有効な技として竜巻旋風脚がある。この技でズームパンチを飛び越え、間合いを詰めてくるのはケン（リュウ）の常套戦法だ。しゃがんでかわすと間合いを詰められることになるので、回転しながらで飛んできているところをジャンプズームパンチで撃退しよう。



○竜巻旋風脚、しゃがんでかわすと間合いを詰められてしまうので……



○ジャンプズームパンチで撃墜する。これなら間合いを詰められないですむぞ

正確な対空防御が必要

懐にもぐりこまれてラッシュ攻撃をかけられるとダルシムに勝機はないので、対空防御は慎重かつ正確を心がけよう。基本的には、引きつけて対空防御すれば確実。微妙な角度で飛びこまれたら、引きつけてから小技で迎撃しよう。各技をうまく使いこなすのだ。



○頭上を狙って飛びこまれてしまったら、弱パンチか中キック



○離れた間合いは、中のズームハイキックでまず大丈夫



○中途半端な間合いの場合には、強のスライディングを使おう

必勝パターン　昇龍拳を誘うパターンがベスト

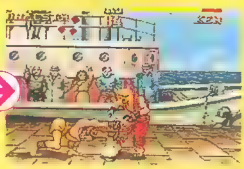
COMのケンは、COMリュウと同じパターンではめることができる。離れた間合いからズームパンチやダブルズームパンチを打つと、反応して昇龍拳を撃ってくるので、昇龍拳の着地際を狙って攻撃しよう。間合いを間違えると昇龍拳が手先にヒットするので、間合いには細心の注意を払おう。



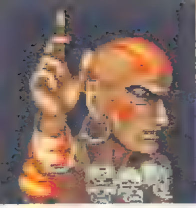
○ズームパンチかダブルズームパンチでけん制する



○昇龍拳を出してきたら、攻撃のチャンスだ

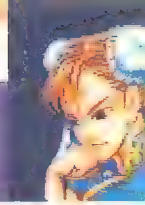


○着地してくるところをダブルズームパンチで攻撃する

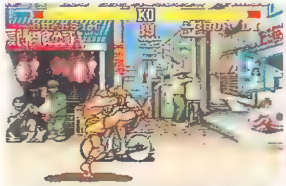


ダルシムVS春麗

軽快な飛び込み攻撃に完全対応しよう



鷹爪脚という強力な飛び込み攻撃を持っている春麗は、ダルシムの対空防御をものともせずに飛び込んでくる。地上戦でも素早い連続攻撃でラッシュをかけてくるので、動きの鈍いダルシムとしては闘いづらい相手だ。



◆豊富なバリエーションの飛び込み攻撃に、完全に対応することが必要だ

地上戦で間合いを離せ

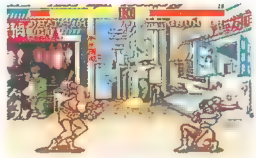
地上戦では中威力のしゃがみズームパンチとズームハイキックを中心に、春麗との間合いを離していくことに徹するのだ。ヘタにスライディングで攻撃すると、防御されてから投げられ、そのままラッシュに持ちこまれ、反撃のチャンスを与えられずに倒される危険があるのだ。



◆接近してきたら中のしゃがみズームパンチでけん制しよう



◆飛びこみを警戒して、ズームハイキックもこまめに使おう



◆間合いをうまく離したら、けん制にヨガファイヤーを使う

単調な攻撃は禁物だ

間合いを離してからの攻撃では、単調なリズムで技を出さないように注意しよう。春麗の飛び込みは素早いので、こちらの技を見抜かれてしまうと、対空防御する間もなく懐に入られてしまう。フェイントに次ぐフェイントで、飛び込みを誘うように闘うのが基本だ。

ヨガファイヤー



◆ごく普通に、けん制と攻撃を兼ねたヨガファイヤーを撃つ

連発と見せかけて



◆一瞬しゃがんで、ヨガファイヤーを撃つと見せかける

フェイント



◆小技を出した瞬間に、春麗は引っかかって飛び込んできた

懐に入られたら、防御だ

もしも懐にもぐりこまれてしまったら、ひたすら防御に徹して反撃のチャンスを待つしかない。反撃のポイントは、春麗が必要以上に接近してきた場合と、強のキックを防御して、間合いが離れた瞬間。接近してきた場合にはヨガスルーかヨガスマッシュ。離れた場合にはズームハイキックやズームパンチで反撃だ。



○ガードを固めて、春麗の動きに注目していよう



○投げにいける間合いに踏みこんできた瞬間を見逃すな



○春麗の一瞬のミスを突いて、危機からうまく脱出てきたぞ

対空防御はジャンプ技で

春麗の飛びこみ攻撃に対して地上からの対空防御は難しいので、タイミングをはかってジャンプ攻撃で迎撃しよう。ダルシムの目の前に飛び込んでくるコースはジャンプズームパンチ、頭上や背後を狙ってきた場合にはジャンプズームハイキックを使うようにしよう。



○対空防御の基本は、逃げジャンプからのジャンプズームパンチだ



○頭上を飛び越していきそうな場合などには、ジャンプズームハイキック

必勝パターン　飛んでくるところを迎撃するだけ

COMの場合は、こちらから誘わなくても飛び込んでくるので、そこを狙って攻撃すれば楽勝。ダルシムの目の前を狙ってきた場合はジャンプズームパンチで撃墜、頭上を狙ってきた場合は鷹爪脚であることが多いので、とりあえず防御しておいて、振り向いたあとで背後からジャンプズームハイキックで撃墜だ。ダブルズームパンチは踏まれてしまうので使わないように。



○適当にけん制しながら、飛び込んでくるのをじっくりと待っていよう



○飛び込んできたところを確実に対空防御。対空防御の練習にはもってこいだ

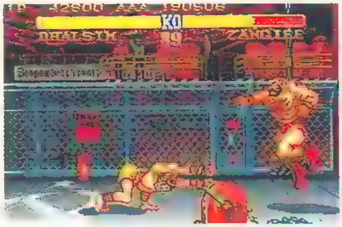


ダルシムVSザンギエフ

相打ちにさえ注意すれば、まず勝てる



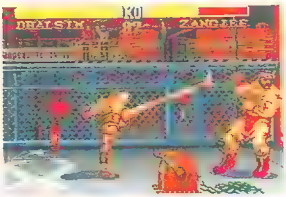
ザンギエフはE.本田に似ていて、低いジャンプからの相打ちを狙う飛び込み攻撃を得意とする。接近されてしまうと無敵のスクリューパイルドライバーはめが待っているので、それだけは絶対に避けなければならない。細心の飛び込み対策が要求される闘いになるぞ。



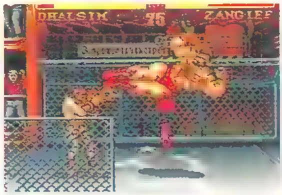
○離れていれば、まず安心だ

飛び込みを防ぎながら離れろ

しゃがみズームパンチとズームハイキックでうまくけん制して、まず間合いを離していこう。間合いが十分に離れないうちにジャンプされてしまうとやっかいなので、こまめにズームハイキックを使って、ジャンプした瞬間に撃墜できるように攻撃しよう。



○ズームハイキックを使って、飛び込みを警戒しながら間合いを離そう



○対空防御に失敗したら、すかさず防御を固めてダメージを防ぐ

ヨガファイヤーで攻めよう

間合いを十分にとったら、弱と強のヨガファイヤーで攻撃。ザンギエフは弱のヨガファイヤーを垂直ジャンプでかわせないので、ガードするか飛び込んでくるはず。そこを狙って攻撃しよう。

基本は弱で



○うまく使えばヒットさせるのもそう難しくない



○弱のヨガファイヤーを中心に使ってけん制していこう



○垂直ジャンプでかわそうとするザンギエフだが……



○垂直ジャンプでは弱のファイヤーをかわせないのだ

ダブルラリアットを狙おう

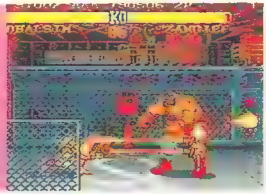
間合いが離れている場合に、ザンギエフはヨガファイヤーをダブルラリアットでかわすことがある。このときには攻撃のチャンスなので、ダブルラリアットを使ってきそうなときには、少し間合いを詰めて、ダブルズームパンチでラリアットの足元を狙って攻撃しよう。ダブルラリアットは足元が弱点なのだ。

ファイヤーをかわしたら



ダブルラリアットでファイヤーをかわされた

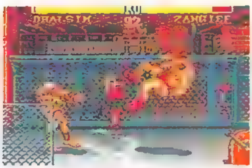
ズームパンチで狙う



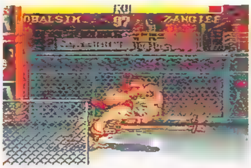
すかさずダブルズームパンチで足元を狙おう

対空防御は相打ちに注意

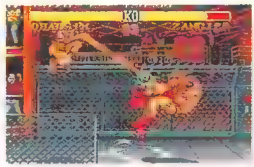
ザンギエフの飛び込み攻撃はダルシムの対空防御と相打ちになりやすいので、離れた間合いから飛び込んできた場合はしゃがみズームパンチを使おう。近い間合いの場合にはスライディングやジャンプズームパンチで、相打ちに注意して撃退すれば大丈夫だ。



通常の対空防御技を使うと、こうなってしまうのだ



着地の瞬間を狙う対空防御方法が効果的だぞ



ジャンプ攻撃で迎撃すれば、安全かつ確実だ

必勝パターン　飛ばせて叩くパターンで闘え

対COM戦で活躍する中のズームパンチが、ザンギエフに対しても効果を発揮する。ズームパンチでジャンプを誘って、飛び込んできたところを対空防御しよう。間合いが離れたら、ズームパンチの代わりに弱のファイヤー。



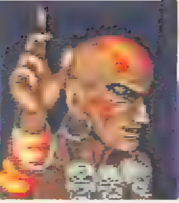
中威力のズームパンチでけん制していこう



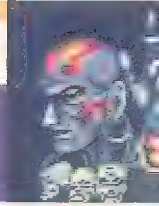
相打ちを警戒して、飛び込んできたところの着地際を狙う



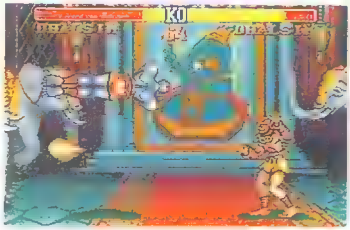
対空防御成功　あとはこのパターンの繰り返しだ



ダルシムVSダルシム
純粋に技術だけが勝負を決する



同じ能力同士の闘いは、読みと純粋な実力が勝負を決める。ダルシム対ダルシムの場合はとくにその傾向が強く、はめ技のような小手先の技は通用しない。自分のタイプに合わせて、徹底的に攻めるか、徹底的に守るか、それとも臨機応変に闘うか。必勝戦法は存在しない。



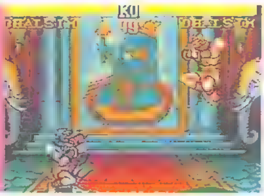
真の実力が勝負を決める

開始時は出方を見よう

開始直後に攻めるのはメリットが少ないので、ここは相手の出方を待って、相手の動きに応じた反撃の手を用意しよう。

もしも相手がこちらの出方をうかがっているようならば、先手必勝、緊迫した空気を吹き飛ばすために、先に攻撃して相手との間合いを離してしまおう。

防御しておいて



防御を固めておいて、相手の出方を見よう

反撃に移る



相手の出方に応じて、適切に反撃しよう

はめは読みが勝負だ

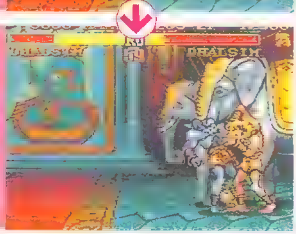
まったく同じ投げ、つかみ技の間合いを持っている相手だけに、はめ技はまず確実に反撃されてしまう。もしもはめ技を使うのなら、フェイントを駆使することが必要。小技を空振りしておいてから投げ、といった具合だ。

普通のはめは



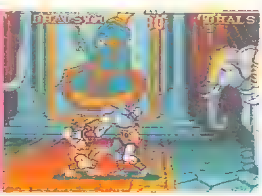
普通のはめを使うと……

返される



簡単に返されてしまう

フェイントを使おう



小技を使ってフェイントをかけることも大切

状況に応じた戦法を使おう

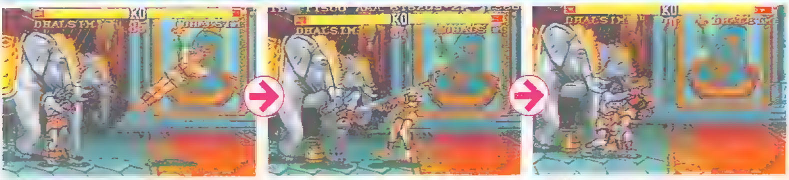
闘いの全般に通用する必勝法はないので、数少ないチャンスに正確な攻撃ができるかどうかがその後の展開を大きく左右することになる。ここに対処法の一例を挙げておくので、実戦で確実に出せるように、チャンスを見逃さないようにしよう。とくに垂直ジャンプの着地を狙うテクニックは重要だぞ。

ヨガファイヤーを垂直にジャンプされた場合



○ヨガファイヤーで攻撃だ　○垂直ジャンプでかわされたら　○ダブルズームパンチが当たる

ドリル攻撃を使われた場合



○足元を狙われた場合は…　○ズームハイキックで迎撃可能　○防御から投げ返しも狙えるぞ

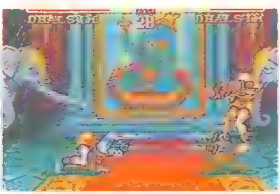
ダブルズームでファイヤーをかわす



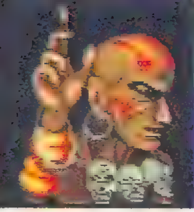
○これくらいの間合いが条件だ　○素早くダブルズームパンチ　○相手にヒットして、かわせる

奇襲攻撃をかけよう

ダルシム同士の闘いでは間合いを見る感覚がマヒしやすいので、ダブルズームパンチを使った奇襲攻撃が意外に効果的なこともある。闘いが白熱しているときに使うのがコツだ。



○相手が油断しているところを狙ってダブルズームパンチを使おう



ダルシムVSバイソン
開始後の対応が勝負の分かれ目だ



バイソンの得意技、ダッシュからのアッパーカットとストレートは、ダルシムの攻撃の間隙をぬってヒットする恐ろしい技だ。ラッシュに持ちこまれると辛いので、その前にパターンにはめて、安全に倒してしまおう。



○間違えて技を出してしまうと、そのまま命取りになってしまうことも

開始と同時にドリル頭突き

開始後の対応は、後方への逃げジャンプがベストだ。バイソンが接近してきた場合にはドリルキック、離れたりその場で動かない場合にはすかさずドリル頭突きからの投げはめて、間合いを大きく離すようにしよう。この一手が決まれば、もう勝ったも同然だ。



○開始と同時に垂直か逃げジャンプを使おう



○バイソンの位置に応じてドリル技で突っ込んでいく



○着地と同時にすぐさま投げる。これでひと安心だ

離れてファイヤーで攻撃

間合いをとったら、弱か中のヨガファイヤーでけん制して、接近を許さないように闘おう。間合いをうまく調節して、飛び込んできた瞬間をすかさず対空防御技で撃墜だ。



○慎重にコマンドを入力して、とにかくヨガファイヤーでけん制だ



○ヨガファイヤーを飛び越えてきた場合には……



○適当な対空防御技で迎撃。バイソンの接近を許すな



○対空防御のあとは追撃のヨガファイヤーを忘れないように

中距離はズームパンチで

若干の接近を許してしまった場合には、もうヨガファイヤーでけん制するのは危険、けん制技を中のズームパンチに切り替えよう。ズームパンチを防御させるとダッシュ攻撃で突っ込んでくるので、そこを弱か中のスライディングで止めて、起き上がりざまに投げを使って再び間合いを離してしまおう。



◯けん制に使う技を中威力のズームパンチに切り替える



◯ダッシュ攻撃を弱、中のスライディングでくいとめよう



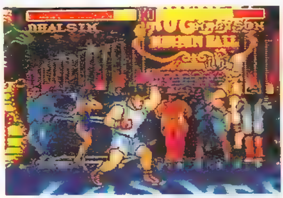
◯起き上がりざまにすぐ投げを使って、間合いを離そう

接近されたら逃げよう

もしも目の前まで飛び込まれてしまったら、投げなどの反撃はあきらめて、まず逃げジャンプをしよう。後方に逃げるだけの余裕があれば、そのまま着地すればいいが、そうでない場合には空中でドリル頭突きやドリルキックに切り替えよう。そのまま反対側に逃げていけない場合は、ドリルからの投げを使って間合いを離すようにしよう。



◯接近されたら、まず防御を固めて攻撃の切れ目までじっと待つ



◯スキを見て逃げジャンプ、状況に応じてドリル攻撃に切り替えよう

ドリルはめも可能だ

開始時にドリル頭突きからの投げが決まれば、そのまま投げはめにいくことも可能だ。バイソンの起き上がりを狙ってドリル頭突きかドリルキックを防御させて、着地の瞬間に画面の端に向かって投げる。あとはこれを繰り返していけば大丈夫。パーフェクトも狙えるぞ。



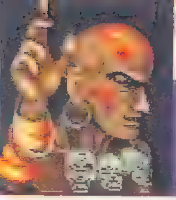
◯ドリル攻撃を使って、まずふところにもぐりこむ



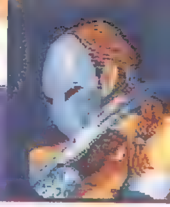
◯着地したら反撃がくる前に投げに持っていこう



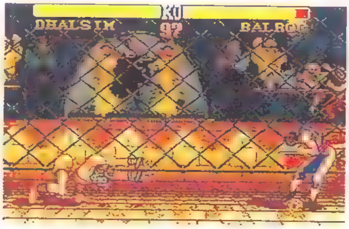
◯起き上がりを狙って再びドリル。このままはめにいこう



ダルシムVSバルログ
正反対の性格がぶつかり合う



最大の長所として素早い動きを持つバルログと、動きの鈍さが最大の短所であるダルシム。性格はまったく正反対なので、バルログの動きに合わせて闘うのはまず不可能。対処法としては、バルログの動きをよく見てスキを突いて攻撃するか、パターンにはめて闘うかだ。



○ダルシムの特性を生かせ

スライディングではめよう

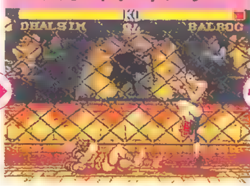
中距離の間合いからスライディングにいくと、バルログはその上を飛び越していく。スライディングから立ち直ったときにバルログがすぐ横に着地するので、その瞬間を狙って投げにいこう。あとは起き上がりを狙ってこのパターンを繰り返せば楽勝だ。

この間合いから



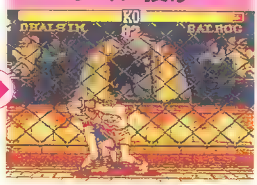
○強のスライディングなら、これぐらいの間合いがいい

スライディング



○滑るダルシムの上をバルログは飛び越えていくのだ

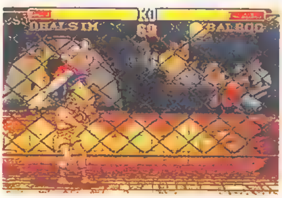
すぐに投げ



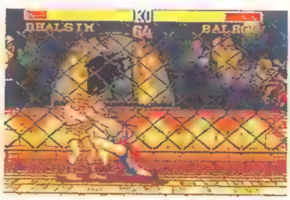
○スライディングから立ち直った瞬間に投げにいけるぞ

接近されたら、守ろう

飛び込みで接近されてしまったら、しばらくの間は防御に徹して、バルログのほうから離れていってくれるのを待とう。反撃したところで、まずこちらの攻撃はヒットしない。それどころかダメージを与えられてしまう一方なので、反撃するだけムダなのだ。



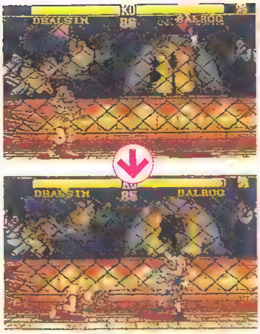
○飛び込まれてしまったら、ムダな反撃などせずに防御していよう



○飛び込み→スライディングが常套パターン。この攻撃を覚えておこう

三角跳びにはダブルズーム

三角跳びを仕掛けてきたら、攻撃のチャンスだ。空中にいるときをズームハイキックで狙うことも可能だが、タイミングを間違えるとキックで迎撃されてしまう。ここは安全かつ確実に、着地の瞬間をダブルズームパンチで攻撃するようにしよう。タイミングは難しいがファイヤーでの攻撃も可能だ。

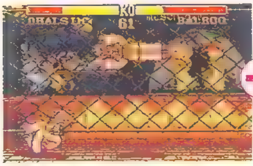


○三角跳びを使ってきたら、適当に接近して間合いを調節して待っていよう

○ジャンプ中を狙うのは危険。着地の瞬間をダブルズームパンチで攻撃しよう

頭突きではめる方法もある

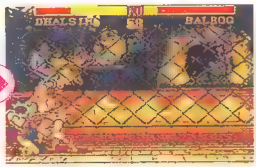
ドリル頭突きとダブルヘッドバット、2種類の頭突きだけではめてしまう方法もある。まずドリル頭突きで飛び込もう。するとバルログはバック転でかわしてくる。もしも着地した瞬間にバック転を終えたバルログがいれば攻撃のチャンス。すかさずダブルヘッドバットだ。



○撃墜されないように、ドリル頭突きを使って突っ込む



○バルログはドリル頭突きをバック転でかわすのだ



○目の前に来たら、すかさずダブルヘッドバットで攻撃だ

バルセロナは逃げよう

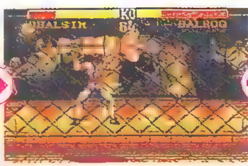
バルログが背景の壁に飛びうつった直後に出してくるバルセロナアタック、イズナドロップに対してダルシムは反撃できないので、飛び込んでくる瞬間にドリル頭突きで逃げよう。



○防御するとイズナドロップで投げられてしまう可能性があるのだ



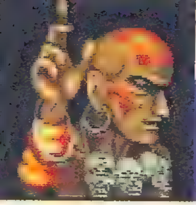
○飛び込んでくるタイミングを地上ではかって……



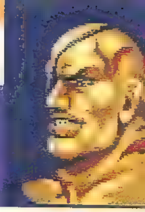
○飛び込みの一瞬前にドリル頭突きで逃げていく



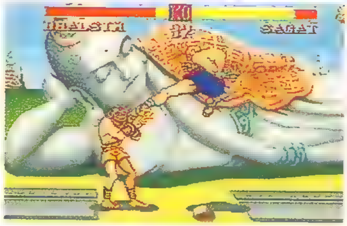
○するとバルログは攻撃地点を間違えるのだ



ダルシムVSサガット
はめは使えない。実力で叩きふせろ!!



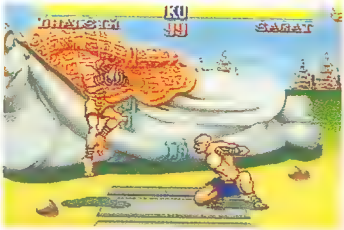
サガットに対しての必勝パターンは存在しないので、実力で闘うしかない。防御をしっかりと固め、ここに紹介する闘いのノウハウを完全に覚えて、攻撃のチャンスに確実にダメージを与えよう。時間切れ、体力勝負にもつれこみやすいので、わずかなミスが命取りだ。



防御重視で闘っていこう

開始直後に逃げジャンプ

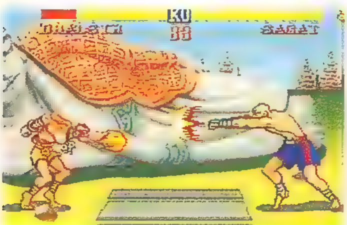
開始直後の対応は逃げジャンプがベター。ジャンプした瞬間にサガットがタイガーアッパーカットを撃ってくることがあるが、そのときにはダメージを覚悟して、すかさずジャンプズームパンチで相打ちに持っていこう。



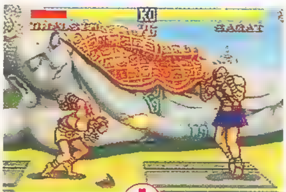
最初は逃げのジャンプを使う

中のファイヤーで闘おう

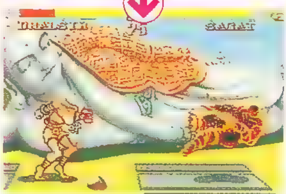
離れた間合いでタイガーショットとヨガファイヤーの撃ち合いになったら、中威力のヨガファイヤーで応戦しよう。強のヨガファイヤーのほうが効率はいいように思えるが、中の場合だと、なぜかサガットの防御が甘く、タイガーショットを撃とうとした瞬間にヨガファイヤーがヒットするのだ。また、中威力のヨガファイヤーでも、正確に撃っている限りはタイガーショットに対して撃ち負けることはない。逆に撃ち負けてしまうのはサガットのほうなのだ。



ヨガファイヤーで相殺する



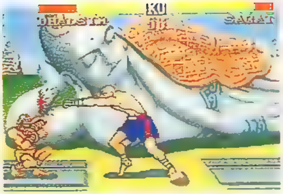
タイガーショットを撃とうとしてヨガファイヤーに当たってしまうのだ



ダルシムはしゃがんでもタイガーショットをかわせないのだ

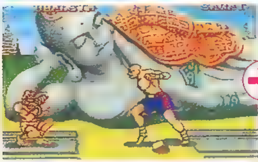
タイガーショットのかわしかた

ダルシムはしゃがんでいても上段のタイガーショットをかわせない。スライディングかダブルズームパンチでかわしていくしかないのだ。

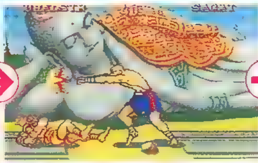


タイガーアッパーカットを空振りした直後を狙えばダメージは大きい

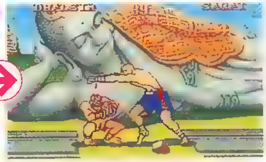
スライディングでかわす方法



上段のタイガーショットがくるのを予想しておいて……

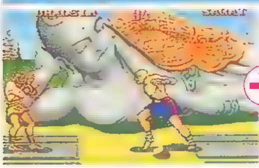


間合いが近ければ強のスライディングを使おう

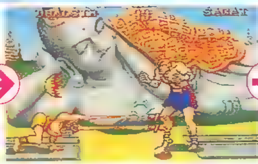


うまくくぐり抜けることができた。攻撃のチャンスだ

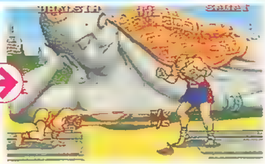
ダブルズームパンチでかわす方法



やはり、上段のタイガーショットを予想しておく



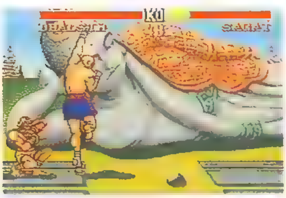
うまく攻撃がヒット。空振りでもかわせるので問題はない



そのままタイガーショットは頭上を通り抜けていく

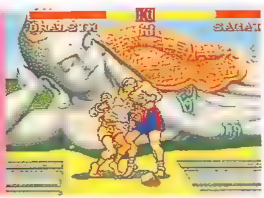
アッパーの空振りを狙おう

サガットがタイガーアッパーを空振りした直後を攻撃すれば、通常よりも大きなダメージを与えることができるのだ。目の前でタイガーアッパーをミスしたら、見落とさず反撃してやろう。



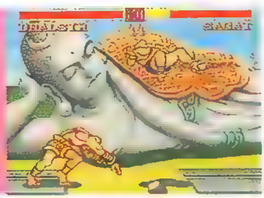
タイガーアッパーカットを空振りした直後を狙えばダメージは大きい

ダブルヘッドバット



もっとも効率のいい攻撃方法がこれだ

ヨガスルー



間合いを離したい場合には投げるのが正解



ダルシムVSベガ

悪の帝王もパターンにはめれば形無し



真正面から挑むと圧倒的な強さを見せつけられてしまうベガだが、簡単な方法でパターンにはめてしまうことができるので、最初の対応さえ間違えなければ楽勝。うまくいけばパーフェクト勝利も狙える相手なのだ。



◆実力に差がありすぎて、パターンを使わずに闘うのは難しい

開始と同時にダブルズーム

開始前から強パンチボタンを連打しておいて、開始と同時にダブルズームパンチを打とう。そのときにベガがダブルニープレスで飛び込んでこなければ、開始後の対応は成功だ。



◆開始と同時にダブルズーム、ダブルニープレスがこなければ成功だ

ダブルズームはめで闘え

ダブルズームパンチを打つと、ベガはヘッドプレスを狙ってくる。ここでまず防御して、ベガが着地する方向に歩いていこう。目の前に着地したらすかさず投げで、離れた場所に着地したら、すかさずもう1度ダブルズームパンチ。これを繰り返せば楽勝だ。


◆ダブルズームパンチを使ってけん制するのだ


◆ヘッドプレスにくるので、ここは防御しておこう


◆着地地点に近づいていって、強威力の攻撃や投げにいこう

攻められたひたすら防御

ベガの攻撃、とくに飛び込んできて2連続攻撃をかけてくるダブルニープレスは手強い。もしも攻めるチャンスを与えてしまったら、猛攻がおさまるまでひたすら防御に徹していよう。



◆ダブルニープレスは怖い。ガードを固めてとにかく防御にまわろう

追い詰められた場合の戦法

画面の左側に追い詰められた場合は、実は絶好の反撃チャンス。中のズームパンチかダブルズームパンチでけん制するとベガはヘッドプレスにくるので、防御しておく。ベガが離れたら、着地の瞬間を狙ってその場でダブルズームパンチを打てば、うまくヒットしてくれるのだ。この繰り返しで、勝てるぞ。



中のズームパンチでけん制すると、ヘッドプレスにくる



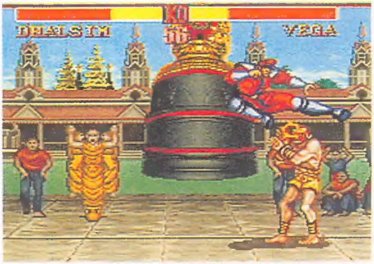
ヘッドプレスは確実にガードしておいて……



着地を狙ってその場でダブルズームパンチで攻撃する

飛び込みに注意しよう

ベガの足を前に出しての飛び込み攻撃は、幅広い攻撃範囲を持っているので要注意。とくに頭上や後方を狙われた場合は、通常の防御ではガードできないのだ。そんな場合には、ダルシムの体の向きと逆に十字ボタンを押すのではなく、体が向いている方向に十字ボタンを押す。これでガードできるのだ。



飛びこみ攻撃の角度をしっかり見極めて防御だ

トドメはサイコを狙い撃ち

ベガの体力がパンチ1発分ぐらいになったら、防御して様子を見よう。もしも後方に大きくジャンプしていったら、サイコクラッシャーアタックがくるので、ヨガファイヤーでとどめを刺そう。



サイコクラッシャーアタックにくる前は、後方に大きくジャンプする



サイコクラッシャーに合わせてヨガファイヤーを準備



これぐらいのタイミングでファイヤーが出ていれば完璧だ



青白く燃えていたベガが、こんどは紅蓮の炎に包まれる

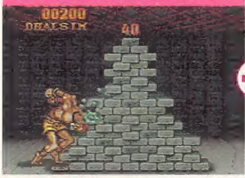
ボーナスステージ ダブルヘッドバットが大活躍するぞ

動きが鈍く、素早く連打できる攻撃も持っていないダルシムだが、ボーナスステージを抜群のスピードで終わらせることができるのだ。使う技はダブルヘッドバットと強威力のしゃがみズームパンチ、つまり強パンチボタンだけだ。これだけの技で、全格闘家のなかでも最速クラスの手際のよさを見せてくれるぞ。

ボーナスステージ1

ここはダブルヘッドバットだけで楽勝。まず手前のブロックを壊したら、そのまま前に歩いて、中央のブロックにたどり着き、歩きながらダブルヘッドバット。これで上と反対側のブロックにヘッドバットが1発ずつ当たり、最後は中央のブロックでおしまい。

まず左側



●まず、左側のブロックをダブルヘッドバットで壊す

歩きながら……



●中央のブロックに向かって歩きながら、ダブルヘッドバット

ダブルヘッドバット



●あとはその場でひたすら壊していけばいいぞ

ボーナスステージ2

しゃがみズームパンチはここで使う。まず左側をダブルヘッドバット2発で壊し、その場でしゃがんで右側に強のズームパンチを2発当てる。そのあとはまた左側でダブルヘッドバット。つまり、左側にいるだけですべてを壊し尽くしてしまえるわけだ。

ダブルヘッドバット



●左側にダブルヘッドバットを2発叩きこむ

ズームを2発



●強のしゃがみズームパンチで右側に2発攻撃

ダブルヘッドバット



●すると、左側から最後まで壊していけるのだ

平成４年７月10日発行（隔週金曜日発行）第８巻12号（通巻154号）

STREET FIGHTER II

ストリートファイターII

攻略ガイドブック③

ガイル／ダルシム編

ファミリーコンピュータMagazine　7月10日号特別付録①